

# ポルトガル月報

2015年5月号

(本報は報道等の公開情報を当館が取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

- 第1四半期の雇用統計 [経済] (6日)
- 連立与党によるトロイカ支援終了1周年記念イベント [内政] (16日)
- 第1四半期のGDP成長率 [経済] (29日)

## 内政

### ●ユーロソンダージェン社による世論調査 (16日)

週刊「エスプレッソ」紙によると、ユーロソンダージェン社による世論調査(期間5月7～12日)で、最大野党の社会党(PS)に対する支持率は、前月から0.6ポイント増の38.1%であった。一方、連立与党(社会民主党(PSD)及び民衆党)は前月より1.1ポイント減の33.6%であった。

【政党別支持率(%)】(直近3か月の支持率推移)

	3月	4月	5月
社会党(PS)	38.1	37.5	38.1
連立与党(PSD+CDS)	33.3	34.7	33.6
統一民主連合(CDU)*	9.6	10.2	10.3
左翼連合(BE)	4.4	4.3	4.8
共和国民主党(RDP)**	3.0	2.8	2.5
自由の党(PL)**	2.1	2.0	1.8

\*共産党(PCP)及び緑の党(PEV)による政党連合。

\*\*RDP及びPLは共和国議会で議席を有していない。

### ●連立与党(社会民主党&民衆党)によるトロイカ支援終了1周年記念イベント (16日)

連立与党(社会民主党&民衆党)は、トロイカ支援終了1周年記念イベントを北部ギマランイス市で開催した。パッソス・コエーリョ首相(社会民主党党首)とポルタス副首相(民衆党党首)は、今秋予定される次期総選挙に両党連立のまま臨むことで合意・署名を行った。

## 外交

### ●カヴァコ・シルヴァ大統領のノルウェー訪問(4～6日)

カヴァコ・シルヴァ大統領は、ノルウェーを訪問し、ソルベルグ首相との会談、同首相主催夕食会への出席等を行った(アギアール・ブランコ国防相、モレイラ・ダ・シルヴァ環境・国土・エネルギー相、クリスタス農業海洋相、クラート教育科学相同行)。5日、カヴァコ・シルヴァ大統領は、今次訪問に同行したポルトガル記者団に対し、海洋分野における投資や技術面での協力のほか、ポルトガル語圏諸国との関係を踏まえたエネルギー分野での協力開始で一致したと述べた。また、同大統領はベルゲン市において、ノルウェー人企業家との会合、漁獲センター視察、ポルトガル人コミュニティとの会合を行った。



(カヴァコ・シルヴァ大統領(左)：大統領府HPから転載)

### ●パッソス・コエーリョ首相のイタリア訪問(8日)

パッソス・コエーリョ首相は、イタリア(フィレンツェ)を訪問し、欧州大学院主催による講演会(“The

State of the Union” ) の閉会式で演説を行った(レンツイイ首相も出席)。同首相は、通貨統合において均衡のとれた繁栄を促進するには一貫した枠組が必要であることから、「欧州セメスター」の新たな方向付け及び簡素化が求められ、「成長・安定のための金融同盟」を創設しなければならないと述べた。また、「欧州通貨基金」は、ユーロ圏全体にとって良い影響を与えるものであるべきとし、欧州投資銀行との協力の下、同基金の創設により、マクロ経済もより均衡するであろうと指摘した。



(パソス・コエーリョ首相：政府HPから転載)

## 経済

### ●第1四半期の雇用統計(6日)

国立統計院(INE)は、2015年第1四半期の雇用統計を発表し、失業率13.7%(前期比0.2ポイント増；前年同期比1.4ポイント減)、失業者数71万2900人であることを明らかにした。また、若年層失業率(15-24歳)は、34.4%(前期比0.4ポイント増；前年同期比3.1ポイント減)、同失業者数は12万7000人であった。

失業関連データの推移は以下のとおり。

	2014/Q1	2014/Q4	2015/Q1
失業者数	788.1	698.3	712.9
若年層	141.6	125.6	127.0
失業率(%)	15.1	13.5	13.7
若年層	37.5	34.0	34.4

(注) 失業者数の単位(千人)。

### ●2015年3月の貿易収支(財)(11日)

国立統計院(INE)は、2015年3月の貿易収支(財)を発表し、それによれば、輸出43億8200万ユーロ(前年同月比10.9%増)、輸入52億3700万ユーロ(同10.1%増)であった。また、直近3か月(2015

年1~3月)については、輸出121億6960万ユーロ(前年同期比4.0%増)、輸入141億3830万ユーロ(同1.4%減)で、貿易収支▲19億6870万ユーロとなっている。直近3か月間における輸出入の主な品目別伸び率(前年同月比)は、以下のとおり。

輸出品目別：燃料・潤滑剤(+8.9%)、資本財(+7.3%)、  
輸送機器関連品(+6.2%)、  
輸入品目別：輸送機器関連品(+19.2%)、燃料・潤滑剤(-30.1%)

### [直近3か月の貿易収支推移]

	1月	2月	3月	合計
輸出額	3811	3977	4382	12169.6
前年同月比(%)	▲3.0	3.9	10.9	4.0
輸入額	4430	4471	5237	14138.3
前年同月比(%)	▲9.9	▲4.1	10.1	▲1.4
貿易収支	▲619	▲494	▲855	▲1968.7

(注) 輸出入及び貿易収支額の単位は百万ユーロ。

### ●短期国債の入札(20日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、6か月物及び12か月物短期国債の入札を実施し、合計15億ユーロを調達した。6か月物の落札額は3億ユーロ、落札平均利回りは-0.002%(前回3月は0.047%)、応札倍率は4.6倍(同2.8倍)であった。また、12か月物の落札額は12億ユーロ、落札平均利回りは0.021%(4月の11か月物は0.015%)、応札倍率は2.0倍(同1.7倍)であった。

### ●2015年1~4月の予算執行状況(財政赤字)(25日)

財務省は2015年1~4月の財政赤字について、15億5300万ユーロ(前年同期比6億9200万ユーロ減)と発表した。

### ●長期国債の入札(27日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、6年物長期国債の入札を実施し、発行予定額の満額10億ユーロ(落札平均利回り：1.5529%)を調達した。

### ●第1四半期のGDP成長率 (29日)

国立統計院 (INE) は、第1四半期のGDP成長率について、前期比1.5%、前年同期比0.6%と発表した。なお、過去3年の推移は以下のとおり。

## 社会・その他

### ●ポルトガルにおける難民申請 (11~14日)

当地各紙によると、本年以降、ポルトガルにおける難民申請は増加傾向にあり、第1四半期の申請件数は224件（前年同期比65件増）であった。特に、ウクライナからの申請が多く、ロウレス市内の難民受け入れ施設では、収容能力を超える難民が収容されている。また、ユーロスタットによると、2014年に欧州連合 (EU) が受け入れた難民は18万5000人で、前年比50%増となった。ドイツ、スウェーデン、フランス、イタリアの4か国で全体の3分の2以上を受け入れている。

### ●ポルトガル人の宗教観 (12日)

ディアリオ・デ・ノティシアス紙によると、リスボン市内にあるマーケティング・スクールの宗教に関する調査（国内1200人が対象）で、信仰があるとした人のうち、55%が少なくとも週1回は教会等の宗教関連施設に通っていると回答した。また、国勢調査（2011年）によると、ポルトガルでは、カトリック教の信者が728万で最も多く、その他のキリスト教が16万人、プロテスタントが7万5000人、正教会系が5万7000人、その他宗教（仏教等）が2万9000人、イスラム教が2万人となっている。なお、無宗教と答えたのは62万であった。